

## エクセルで表とグラフの作成(犬の体重と餌の分量)

Excelを使用すると表の作成が容易であり、簡単な操作でグラフ表示も行うことができます。今回はグラフを活用して、表のデータをより分かりやすくする学習を行います。

1. Excel(エクセル)を起動し、犬の餌袋に表示されているデータから下の表を作成します。

|    | A                          | B          | C         | D         |
|----|----------------------------|------------|-----------|-----------|
| 1  | 犬の体重と一日当たりのえさの分量との関係(S社の例) |            |           |           |
| 2  |                            |            |           |           |
| 3  | 犬の体重(kg)                   | 餌、少なめ(g/日) | 餌、多め(g/日) | 平均餌量(g/日) |
| 4  | 0                          | 0          | 0         | 0         |
| 5  | 2                          | 50         | 65        | 57.5      |
| 6  | 3                          | 50         | 65        | 57.5      |
| 7  | 4                          | 75         | 110       | 92.5      |
| 8  | 5                          | 75         | 110       | 92.5      |
| 9  | 9                          | 130        | 175       | 152.5     |
| 10 | 18                         | 225        | 295       | 260       |
| 11 | 27                         | 295        | 420       | 357.5     |
| 12 | 36                         | 370        | 520       | 445       |
| 13 | 45                         | 445        | 620       | 532.5     |

**【A列～D列の幅】:**

「15.00 (125ピクセル)」程度に設定します。列幅調整には列表示の右端をドラッグします(下図参照)。

**【列幅の調整の仕方】**

ドラッグして幅を調整します。

|   | A | B | ←→C |
|---|---|---|-----|
| 1 |   |   |     |
| 2 |   |   |     |
| 3 |   |   |     |

赤実線部分は犬の餌に記されている餌の分量データを入力したものです。(半角数値)  
赤点線部分は、「少なめ」と「多め」の平均値で、D4～D13セルには計算式を入力します。

**【D4セルへの入力】:** 「=(B4+C4)/2」と半角英数で入力します(注1)。

**【D5～D13セル入力】:** D4セルをコピーして、D5～D13セルに貼り付けます。

注1) 計算の対象が多数の場合、「挿入」→「関数」→「AVERAGE」を使用すると便利です。

2. グラフの作成: 餌の分量表の平均値が与える餌分量の目安となりますが、犬の体重が表の体重値と一致しない場合は、餌の分量表からもう一度概算しなければならず厄介です。一方、表のデータをグラフにすると、任意の体重での餌分量を正確に知ることができます。次の手順で、表のデータからグラフを作成します。

(1) 表全体(A3～D13セル)をドラッグしてから、グラフのアイコン(  )をクリックします。

グラフのアイコンが見つからない場合は、「編集」→「グラフ」とクリックします。

(2) グラフウィザードが起動するので、グラフの種類→「散布図」とし手順にしたがい進めます。

グラフ ウィザード - 1/4 - グラフの種類

標準 ユーザー設定

グラフの種類(C):

- 縦棒
- 横棒
- 折れ線
- 円
- 散布図**
- 面
- ドーナツ
- レーダー
- 等高線

形式(D):

データポイントを平滑線でつないだ散布図です。

サンプルを表示する(O)

キャンセル <戻る 次へ(N)> 完了(E)

グラフ ウィザード - 3/4 - グラフ オプション

タイトルとラベル 軸 目盛線 凡例 データラベル

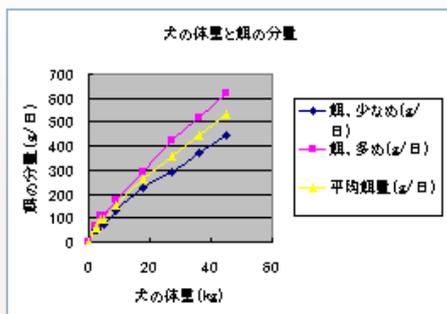
グラフタイトル(T): 犬の体重と餌の分量

X/数値軸(A): 犬の体重(kg)

Y/数値軸(Y): 餌の分量(g/日)

X/第2項目軸(X):

Y/第2数値軸(Y):



キャンセル <戻る(B) 次へ(N)> 完了(E)

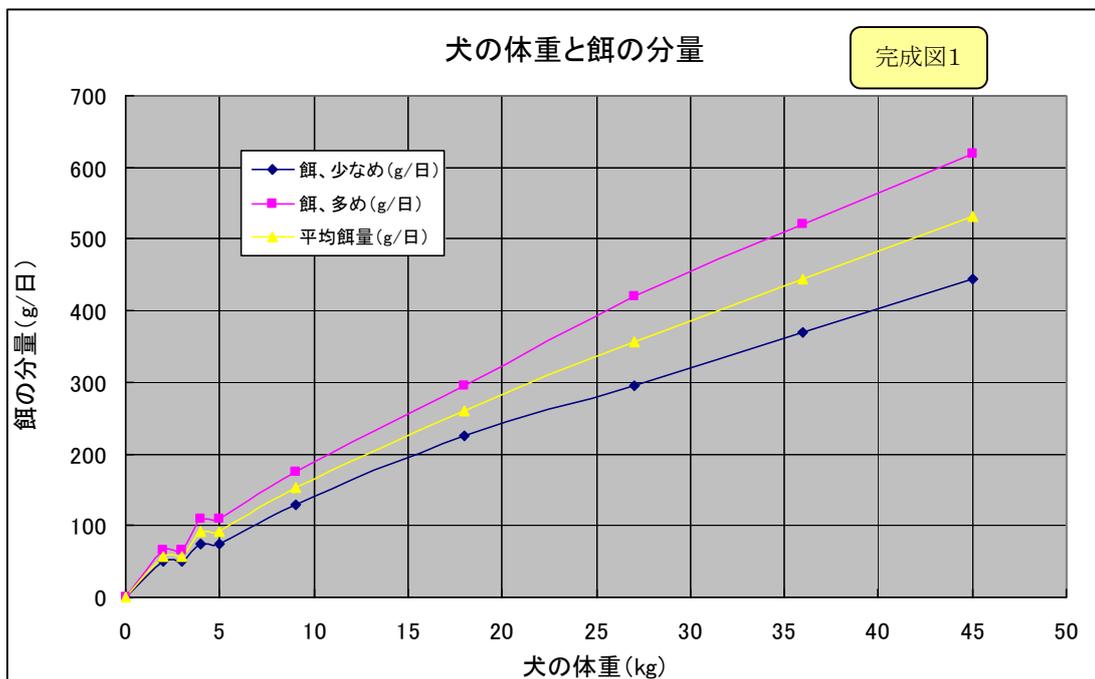
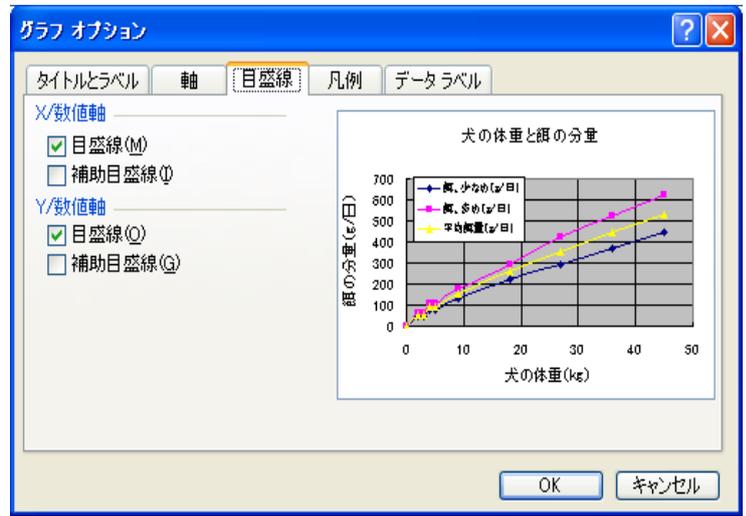
「散布図」を選択。形式はデータポイントを平滑線でつないだものとします。

(3) グラフウィザードが終了してグラフ表示されたら、フォントサイズ、線の色、太さ、目盛線などを見やすく調整します。

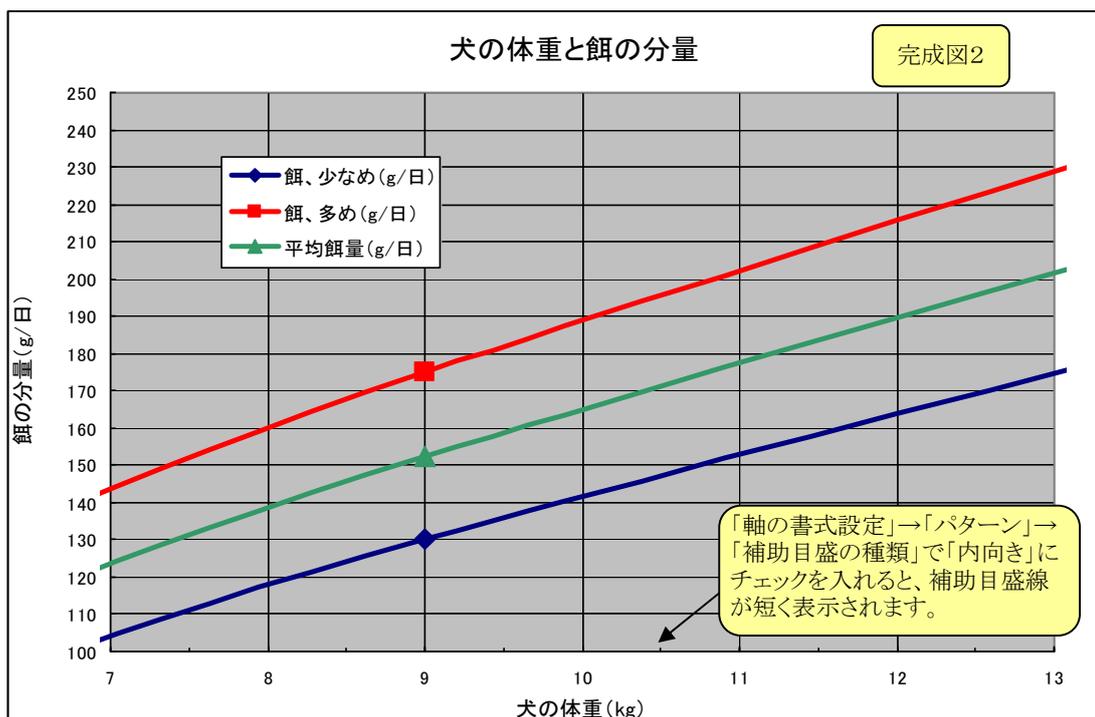
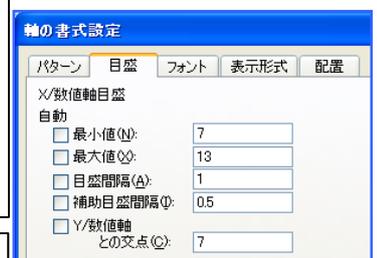
● 縦横に目盛線を入れるにはグラフの余白部を右クリックし「グラフオプション」→「目盛線」→X,Y軸の目盛線にチェックを入れる。

● 縦軸、横軸の数値フォントを変えるには、その軸の数値をダブルクリックし「軸の書式設定」で必要な変更をしてOKとします。

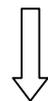
● 打点や打点を結ぶ線の色、太さを変えるには、打点をダブルクリックし、表示される「データ系列の書式設定」で必要な変更を行ってからOKとします。



左図は完成したグラフ。体重10kg前後を拡大して表示したいときは横軸数字をダブルクリック→「軸の書式設定」→「目盛」で最小値7、最大値13、目盛間隔1補助目盛0.5とします。



縦軸数値についても同様に、最小値100、最大値250、目盛間隔10、補助目盛間隔5とします。



左図のように10kg前後の餌分量が拡大表示されるので、その体重に合った餌分量がより正確に分かります。